解　説

第15章　　　　財政

大阪府の財政

234億円の黒字

 大阪府財政課によると、令和4年度の普通会計決算(実質収支)の状況は234億円の黒字で、15年連続の黒字です。

　歳入は、景気の緩やかな持ち直しによる法人二税の増加などにより、府税収入は前年度決算から増加となりましたが、新型コロナウイルス感染症対策関連経費の減少に伴う国庫支出金の減少などにより、全体としては7,443億円減少しました。

　歳出は、営業時間短縮協力金の減少などにより、全体としては7,395億円の減少となりました。

 大阪府普通会計 歳入歳出決算額の内訳

歳入



歳出

[第15章1、2表より]

大阪府の資産・負債

純資産は約1兆5千億円

　大阪府会計局によると、令和5年3月31日現在、7兆7,986億円の資産と6兆2,901億円の負債があります。純資産は1兆5,084億円であり、前年度に比べ2,809億円増加しました。

※大阪府では、平成23年度決算から、従来の官庁会計の仕組みに複式簿記・発生主義という企業会計の考え方を取り入れた「新公会計制度」を導入しています。



[大阪府会計局「令和４年度財務諸表」より]

※貸借対照表：財務諸表の作成基準日における資産、負債及び純資産の状況を明らかにするもの

市町村の財政

形式収支は891億円の黒字

 大阪府総務部によると、令和4年度の府内市町村普通会計決算額は、歳入は4兆7,768億円(前年度比1.7%減)、歳出は4兆6,876億円(同1.5%減)で、形式収支(歳入－歳出)は891億円の黒字です。

 歳入は、科目別では、地方税が１兆7,485億円(前年度比3.5%増)、地方交付税が3,537億円(同6.2%減)、国府支出金は1兆6,154億円(同5.3%減)、地方債が2,349億円(同29.2%減)です。



 府内市町村の歳入の内訳

歳出は、目的別では民生費が最も大きく、2兆1,445億円(前年度比2.4%減)、構成比45.7%です。



※普通会計：共通の基準による統計上の会計区分を設定して地方公共団体間の財政比較が可能となるようにしたもの

[第15章9表より]

 府内市町村の歳出の内訳